



## じゃがいものおうち通信

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

1999年4月13日

NO. 8

発行責任者 楯 篤雄 〒 891-4404 屋久町尾之間 658-1  
TEL/FAX 09974-7-3032 mokkuri@d1.dion.ne.jp

## 自然の姿に習って、美しく輝いていこう

今年の木の芽流しは、いつになく長雨で、気がつけば新緑の輝きが、山裾に広がっていました。卒業、お別れ、歓迎、入学と、バタバタしたそんな我々をよそに、自然の様は着実に、美しく、生命を、謳歌しているようです。

さてじゃがいものおうちの動きも、そんな自然の姿に習って、美しく輝いていこうといいながら、ちょっと無沙汰してしまいました、8号通信！。これまでのこと、これからのこと、まとめてみました。

### 3月13日 屋久町こまどり館にて

竹ノ内さん、福元君の送別会をしました。私たち、じゃがいものおうちの活動に、温かく働いて頂いたお二方、残念でしかたありませんが、新天地での活躍を期待いたしまして、ささやかな、お別れ会をしました。

じゃがいものおうち出張員として『頑張ってください。』

そして午後からは社協の局さんを囲んで、今後の活動や方針、行政、社協、との連携等々、熱の入った話しになりました。なによりもこの度、土曜の閉館日なのに、町、社協の方々のご理解によって、こまどり館を使わせて頂いたこと、感謝いたします。

最後にビデオプロジェクタ - で、「五体不満足」の乙武洋匡さんのインタビュー - をみました。障害を特徴として、誇りをもって生きている姿に感動しました。(楯篤雄)

## 小児保健・屋久島地区療育研究班(県)の先生方来島 4月10日

春牧福祉館にて、次のような具体的な話し合いが行われました。

屋久島で障害児小規模通園事業を推進する。

その為に必要としている子どもたちを把握する

上屋久町・屋久町、両町に働きかける。

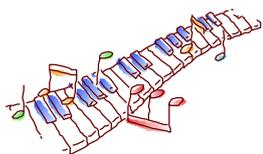
その他(詳しいことを知りたい方は連絡して下さい。)

固い土を破って、突然じゃがいもの芽が出てきた。そんなうれしい気持ちです。みんなで協力し、夢を形につなげていきましょう。(松田咲美)



## 友だちといっしょに 安房 岡林友美

土よう日は、音楽発表会。  
「星空はいつも」をふえで合そうだ。  
三だんめは、ゆびがはやくてむずかしい。  
シドレー ラシドー  
ソラシ レドシーラソ  
りえさんがふいて、わたしがまねをする。  
シからドにうつるとき、  
人さしゆびがなかなかうごかない。  
みんなと合わせるとちがう音がする。  
りえさんが、  
「はなすんだよ。」  
とおしえてくれた。  
一回目では、はなそうとしてもできなかつた。  
四回目でゆびがはやくうごいている気がした。  
五回目でじょうずにできた。  
「うれしい、できた。」  
顔がにこにこになった。  
りえさんが、  
「できたね。」  
と言ってくれた。  
五人のグループで昼休みもれん習した。  
みんなと同じ音が出せたよ。  
ごとう先生にもしらせたら、  
「あと、もうちょっとだね。」  
と言ってくれました  
友だちとふけたら、ふえがおもしろくなった。  
楽しくなった。



## 屋久町産業祭に向けて

今月29日(日)に行われる産業祭にじゃがいものおうちも出店したいと思います。そこで、以下の通り、準備をしますので都合のつく方は参加をお願いします。

18日(日)

木工 ・午前9時～午後3時(昼食持参)

・楯宅(尾之間 7-3032)

・木箱、枝押しピン等作ります。

焼き物 ・午後1時～

・吉利宅(屋久島焼:平内 西開墾7-2624)

・素焼きのキャンドルスタンドなど小物を作ります。

25日(日)

木工 ・午前9時～午後3時(昼食持参)

・楯宅(尾之間 7-3032)

28日(水)

じゃがいもの皮むき(出店用)

・午後3時～ 松田宅(尾之間 7-2091)

前例のないことを始める時、そこにハッキリとしたビジョンはそれほど重要性を持たない。最近そんな風に思えてなりません、むしろ、内から沸き上がる想いに素直に従って動く方が近道のように思います、この度田中先生が持ってきた、小規模通園事業のお話は、屋久島に初めて療育の場が実現する、大きなお土産でした。

これからも積極的に動いて行きましょう。(楯篤雄)